

政策シート

2025年度	(管理番号)					担当課名
	分野	基本政策		政策		文化財課
	06	01	01	08	01	

政策
専門職の人材育成

政策の内容

文化財の保存及び活用に携わる専門職の育成に取り組めます。

生活満足度に関する指標(個別指標)

指標名	質問文	基準値 2024年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
歴史文化への愛着	あなたの暮らしている地域の歴史文化に愛着や誇りを感じますか。	2.89	2.90				

※総合計画基本計画に係る市民意識調査(アンケート)の結果

現状・課題

本市には多様な文化財が存在し、その数も他の政令指定都市と比較して多い。適切な保存と活用のためには、継続的な専門人材の採用と職員研修が必要である。特に埋蔵文化財に関しては、発掘調査に係る高度な知識と技能が求められる。

政策コストの状況(千円)	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
予算	1,049				
決算	633				

※「①事業活動(アクティビティ)」の予算・決算の合計

人工	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
正規職員	0.1				
会計年度任用職員	0.0				
暫定再任用職員(31時間勤務)	0.0				
暫定再任用職員(26時間勤務)	0.0				

①事業活動(アクティビティ)

事業名	事業内容	2025年度 予算 (千円)
		2025年度 決算 (千円)
学芸員資格所有者の知識・技能向上	関係機関等が開催する外部研修に参加する。	1,049
		633

※予算・決算は各事業に係る経費を計上

②活動(アウトプット)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
学芸員資格を所有する正規職員が参加した文化財課業務に係る外部研修(講師を含む)・視察の件数(件)	学芸員資格を所有する正規職員が参加した庁外の研修会等の年間実績件数	OJTのみでは得られない最新の情報や技術に触れるため、庁外で開催される研修会等は積極的に活用する必要がある。	目標値	-	19	19	20	20	21
			実績値	18	28				
			達成率	-	147%				
			目標値	-					
			実績値						
			達成率	-					
			目標値	-					
			実績値						
			達成率	-					

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

③短期成果(アウトカム)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
文化財課業務に係る外部研修(講師を含む)・視察に参加した学芸員資格を所有する正規職員の延べ人数(人)	庁外の研修会等に参加した学芸員資格を所有する正規職員の年間実績人数	年齢、経験等に基づき、適切な研修会等へ積極的に職員を参加させることは、専門人材の育成に不可欠である。	目標値	-	27	28	29	30	31
			実績値	24	34				
			達成率	-	126%				
			目標値	-					
			実績値						
			達成率	-					

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

④長期成果(アウトカム)指標

指標名	基本計画 指標	指標の定義		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度	目標値 2034 年度
学芸員資格を所有する正規職員一人当たりの研修・視察参加件数(回)		学芸員資格を所有する正規職員の研修・視察参加の延べ人数を資格所有正規職員数で割り、一人当たりの参加回数を計算する	実績値	2.67 (2025.2月 末現在)	3.11					3.6
			達成率	74.20%	86%					
			実績値							
			達成率							
			実績値							
			達成率							

※達成率は2034年度の目標値に対する実績値から算出する。

⑤目的:10年後(2034年)の理想の姿

多様な文化、芸術、歴史の活動を担う人材が育ち、活躍している。

【2025年度の評価】

「①事業活動(アクティビティ)」の実施内容と事業改善(2026年度記載)

事業名	実施内容	事業改善の内容や今後の方向性
学芸員資格所有者の知識・技能向上	関係機関等が開催する外部研修に参加した。	学芸員資格所有者の異動や経験状況を踏まえながら、引き続き知識・技能向上のための研修等への参加に努め、文化財保護業務への活用を推進する。

「②活動(アウトプット)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否

「③短期成果(アウトカム)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否

2025年度の政策の評価と2026年度以降の取組の方向性(2026年度記載)

文化財の保存及び活用に携わる専門職の育成に取り組んだ。

- ・①事業活動(アクティビティ)の総括
学芸員資格所有者の知識・技能向上のため、関係機関等が開催する外部研修に参加した。
- ・②活動(アウトプット)指標「学芸員資格を所有する正規職員が参加した文化財課業務に係る外部研修(講師を含む)・視察の件数」については、年度達成が約147%だった。
- ・③短期成果(アウトカム)指標「文化財課業務に係る外部研修(講師を含む)・視察に参加した学芸員資格を所有する正規職員の延べ人数」については、年度達成率が約126%だった。
- ・④長期成果(アウトカム)指標「学芸員資格を所有する正規職員一人当たりの研修・視察参加件数」については、比較的順調に進捗し、約86%の達成率となった。

今後も文化財調査等に関する技術の進展や、活用に関する社会状況の変化に対応できるよう、文化財の保存及び活用に携わる専門職の育成を推進する。

政策シート

2025年度	(管理番号)					担当課名
	分野	基本政策		政策		博物館
	06	01	01	08	02	

政策
専門職の人材育成

政策の内容

博物館の役割である収集・保存・研究・教育・展示活動などに関する技能を高め、文化財の保存及び活用に携わる専門職の育成に取り組めます。

生活満足度に関する指標(個別指標)

指標名	質問文	基準値 2024年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
歴史文化への愛着	あなたの暮らしている地域の歴史文化に愛着や誇りを感じますか。	2.89	2.90				

※総合計画基本計画に係る市民意識調査(アンケート)の結果

現状・課題

文化財の収集・保存・研究だけでなく、教育・展示活動など、博物館に求められる社会的な役割の発揮が求められている。
文化財の保存及び活用にに向けて、中長期的な調査研究等を実施するために、学芸員の資質向上が必要である。

政策コストの状況(千円)	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
予算	0				
決算	0				

※「①事業活動(アクティビティ)」の予算・決算の合計

人工	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
正規職員	0.9				
会計年度任用職員	0.5				
暫定再任用職員(31時間勤務)	0.0				
暫定再任用職員(26時間勤務)	0.0				

①事業活動(アクティビティ)

事業名	事業内容	2025年度 予算 (千円)
		2025年度 決算 (千円)
博物館運営事業	学芸員の育成 中長期的な学芸員の人材育成を進める。 各分野における調査研究を進め、その成果を還元することで、市民の歴史学習を支援する。 外部での研究発表を通じ、浜松市のPRを図り、来市のきっかけをつくる。	0
		0

※予算・決算は各事業に係る経費を計上

②活動(アウトプット)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
学芸員が講演・講座等の講師を務めた件数(件)	外部での研究発表や出前講座を含む。連続講座は1件でカウント	講師を務めるには、調査研究だけでなく、説明するスキルが必要となる学芸員の育成には欠かせない要素である。	目標値	-	15	15	17	17	19
			実績値	15	25				
			達成率	-	167%				
			目標値	-					
			実績値						
			達成率	-					
			目標値	-					
			実績値						
			達成率	-					

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

③短期成果(アウトカム)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
講演・講座等の参加人数(人)	学芸員が講師を務めた講演・講座等の参加者数	会場の制約があるため、1回あたりの参加人数は制限されるものの、定期的に開催することで博物館の研究成果を発信、市民へ還元することができる。	目標値	-	300	300	340	340	380
			実績値	993	829				
			達成率	-	276%				
			目標値	-					
			実績値						
			達成率	-					

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。



④長期成果(アウトカム)指標

指標名	基本計画 指標	指標の定義		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度	目標値 2034 年度
学芸員の学術的著述(館報 等)の本数		学芸員の学術的著述(館報 等)の本数	実績値	3	4					学芸員数 × 1.5 本
			達成率	67%	67%					

※達成率は2034年度の目標値に対する実績値から算出する。



⑤目的:10年後(2034年)の理想の姿

誰もが文化、芸術、歴史の魅力に触れ、学び、楽しみ、新たな文化が創出されている。
多様な文化、芸術、歴史の活動を担う人材が育ち、活躍している。

【2025年度の評価】

「①事業活動(アクティビティ)」の実施内容と事業改善(2026年度記載)

事業名	実施内容	事業改善の内容や今後の方向性
博物館運営事業	学芸員の継続的な人材育成を図るため、各分野における調査研究を積極的に推進した。研究成果については、講演・講座等の開催を通じて市民への還元に努め、歴史学習の充実化を促進した。	引き続き、研究指導(調査研究)体制を充実させることで、学芸員の人材育成を推進していく。

「②活動(アウトプット)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否

「③短期成果(アウトカム)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否

2025年度の政策の評価と2026年度以降の取組の方向性(2026年度記載)

講演、講座活動に関する活動指標、短期成果指標については、当初目標を大幅に上回る成果を得ることができ、市民の学習ニーズの高さと事業の有効性を確認できる結果となった。 一方、長期成果指標については、目標に達せず、学芸員の研究成果の発表機会が、講演・講座活動に重点化された傾向となった。 今後は、講演、講座活動の継続に加え、学術論文や館報への寄稿機会を意図的に創出し、学芸員の研究成果の発表を促進していく。

政策シート

2025年度	(管理番号)					担当課名
	分野	基本政策		政策		美術館
	06	01	01	08	03	

政策
専門職の人材育成

政策の内容

地域の文化を支えていく専門職の育成に取り組みます。

生活満足度に関する指標(個別指標)

指標名	質問文	基準値 2024年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
—	—						

※総合計画基本計画に係る市民意識調査(アンケート)の結果

現状・課題

美術館学芸員による「市民向け学芸員講座」を開催し、学芸員の研究成果を市民に還元する機会を設け、美術を身近に感じていただきながら、地域の文化を支えていく人々の育成を行うだけでなく、学芸員自身のスキルアップにつなげている。

地域の文化を支えていく人々の養成、文化施設の質を確保することで、市民への学びの場としての一層の充実を図る。

政策コストの状況(千円)	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
予算	0				
決算	0				

※「①事業活動(アクティビティ)」の予算・決算の合計

人工	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
正規職員	0.0				
会計年度任用職員	0.0				
暫定再任用職員(31時間勤務)	0.0				
暫定再任用職員(26時間勤務)	0.0				

①事業活動(アクティビティ)

事業名	事業内容	2025年度 予算 (千円)
		2025年度 決算 (千円)
学芸員講座事業	1. 学芸員講座事業 美術館学芸員による「市民向け学芸員講座」を開催し、学芸員の研究成果を市民に還元する。	0
		0

※予算・決算は各事業に係る経費を計上

②活動(アウトプット)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
講座開催数(回)	講座開催数	地域の文化を支えていく人々の養成、文化施設の質の確保として講座開催回数の実績を測る指標であり、実績により市民への学びの場に寄与すると見込んでいる。	目標値	-	4	4	4	4	4
			実績値	4	4				
			達成率	-	100%				
			目標値	-					
			実績値						
			達成率	-					
			目標値	-					
			実績値						
			達成率	-					

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

③短期成果(アウトカム)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
講座参加者数(人)	講座参加者数	地域の文化を支えていく人々の養成、文化施設の質の確保として講座参加者数の実績向上により、多くの方に学びの場を提供することで育成状況を測る指標であり、実績により市民だけでなく、職員の育成向上にもつながると見込んでいる。	目標値	-	200	200	200	200	200
			実績値	138	94				
			達成率	-	47%				
			目標値	-					
			実績値						
			達成率	-					

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

④長期成果(アウトカム)指標

指標名	基本計画 指標	指標の定義		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度	目標値 2034 年度
受講者満足(%)		1年間の講座にかかる満足度の割合 ※受講者アンケートより実績値を算出。2025年度の途中から設定した指標であるため、2024年度、2025年度の実績値なし。	実績値	—	—					90%
			達成率	—	—					
			実績値							
			達成率							
			実績値							
			達成率							

※達成率は2034年度の目標値に対する実績値から算出する。

⑤目的:10年後(2034年)の理想の姿

多様な文化、芸術、歴史の活動を担う人材が育ち、活躍している。

【2025年度の評価】

「①事業活動(アクティビティ)」の実施内容と事業改善(2026年度記載)

事業名	実施内容	事業改善の内容や今後の方向性
学芸員講座事業	美術館学芸員による「市民向け学芸員講座」として、ガラス絵、現代美術、東洋美術、仏像をテーマに年4回開催し、学芸員の研究成果を市民に還元した。	次年度はアンケート調査で受講者の満足度を調査する。

「②活動(アウトプット)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否

「③短期成果(アウトカム)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否

2025年度の政策の評価と2026年度以降の取組の方向性(2026年度記載)

美術館学芸員の研究成果を市民に還元する機会として、学芸員による「市民向け学芸員講座」を計画通り開催した。展覧会自体の集客が伸び悩んだため参加者数は目標を下回ったものの、講座市民に美術を身近に感じるきっかけを提供し、地域の芸術文化に興味・関心を持つ方々にとっては、知的欲求を満たす学びの場の充実を図ることができた。 2026年度以降も、調査・研究の成果を定期的に発表し、学芸員自身のスキルアップとともに、質の高い学びの場の提供に努める。

政策シート

2025年度	(管理番号)					担当課名
	分野	基本政策		政策		中央図書館
	06	01	01	08	04	

政策
専門職の人材育成

政策の内容

知の拠点としての図書館機能の拡充を図るため、図書館における専門職の育成に取り組めます。

生活満足度に関する指標(個別指標)

指標名	質問文	基準値 2024年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
—	—	—	—				

※総合計画基本計画に係る市民意識調査(アンケート)の結果

現状・課題

浜松市図書館ビジョンに基づき、多様な資料を収集し、資料の貸出しやレファレンスサービスなどの事業により、知の拠点としての図書館機能の充実を図っている。
資料収集及びレファレンスサービスでは図書に関する知識、郷土の歴史やそれに関連する資料の知識を有する人材の確保が課題となっている。
そのため、地域の文化を支えていくために必要な専門職の人材を育成する必要がある。

政策コストの状況(千円)	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
予算	126				
決算	120				

※「①事業活動(アクティビティ)」の予算・決算の合計

人工	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
正規職員	0.0				
会計年度任用職員	0.0				
暫定再任用職員(31時間勤務)	0.0				
暫定再任用職員(26時間勤務)	0.0				

①事業活動(アクティビティ)

事業名	事業内容	2025年度 予算 (千円)
		2025年度 決算 (千円)
図書館管理運営 事業	1 専門職人材の育成 課内での研修実施や外部研修に積極的に参加し、知識と経験の習得に努める。	126
		120

※予算・決算は各事業に係る経費を計上

②活動(アウトプット)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
課内及び外部研修回数(回)	課内で実施した研修回数及び外部研修への参加回数	課内実施研修回数及び外部研修への参加回数の増加により、職員の知識習得の向上に寄与すると見込んでいる。	目標値	-	39	39	40	40	41
			実績値	35	36				
			達成率	-	92%				
			目標値	-					
			実績値						
			達成率	-					
			目標値	-					
			実績値						
			達成率	-					

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

③短期成果(アウトカム)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
課内及び外部研修参加人数(人)	課内で実施した研修及び外部研修への参加人数	課内及び外部研修への参加状況を測る指標であり、この指標の向上により、職員の知識習得状況の向上につながることを見込んでいる。	目標値	-	136	146	156	166	176
			実績値	126	132				
			達成率	-	97%				
			目標値	-					
			実績値						
			達成率	-					

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。



④長期成果(アウトカム)指標

指標名	基本計画 指標	指標の定義		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度	目標値 2034 年度
職員1人当たりの課内及び 外部研修参加回数 (回)		職員1人当たりの課内及び 研修参加回数	実績値	1.94	2.06					3.52
			達成率	55%	59%					
			実績値							
			達成率							
			実績値							
			達成率							

※達成率は2034年度の目標値に対する実績値から算出する。



⑤目的:10年後(2034年)の理想の姿

多様な文化、芸術、歴史の活動を担う人材が育ち、活躍している。

【2025年度の評価】

「①事業活動(アクティビティ)」の実施内容と事業改善(2026年度記載)

事業名	実施内容	事業改善の内容や今後の方向性
図書館管理運営事業	県立中央図書館が主催する職員研修課内研修や外部研修に延べ132人の職員を参加させることにより、図書館職員に必要な知識を習得させることができ、図書館サービスの向上が図られた。	積極的に課内研修を実施、外部研修に職員を参加させ、知識を習得させることにより、図書館サービスの向上を目指す。

「②活動(アウトプット)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否

「③短期成果(アウトカム)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否

2025年度の政策の評価と2026年度以降の取組の方向性(2026年度記載)

研修開催回数、参加人数ともに目標値を下回る結果となったが、取組としては、外部研修へ参加した職員が講師となって、課内研修を実施することで、職員相互の知識の向上が図られた。今後も外部研修へ積極的に参加させるとともに、研修参加者だけでなく外部講師を招いた研修を実施することなどにより、職員の更なる知識の向上を目指す。
--